

成果指標				
成果指標	交通指導員設置費負担金額／活動参加者数			
指標設定の考え方	交通安全協会実施事業への参加者一人あたりに対応する負担金額をみて、事業規模の適否を判定する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	883	883	0	0
実 績	667	796	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	高齢者による事故の未然防止策を効果的に実施することが必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	保育所、幼稚園、学校、事業所、地域での交通教室及び交通キャンペーン等、年間240回程度の活動を行っている。今後も交通の安全の円滑を保つための指導、啓発に努めるよう交通安全協会に働きかける。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題